

## 5月定例記者会見録概要

2021（令和3）年5月10日（月）午前10時30分～  
市役所本庁4階 庁議室

### 1. 市長からの発表

おはようございます。ゴールデンウィークの最終日は、あいにくの雨模様でしたが、合間を縫って、市内のあちらこちらで田植え風景が見られました。

そのような中、市内観光施設の入込客数ですが、4月29日から5月5日までの7日間で、伊賀上野城は2,750人、伊賀流忍者博物館は3,183人でした。昨年は緊急事態宣言で休業していましたが、一昨年前の令和元年と比較すると1日当たりで、伊賀上野城は27.7%、伊賀流忍者博物館は20.3%であり、他の施設も約35%とコロナ以前と比べ大きく減っています。

さて、新型コロナウイルスですが三重県では、4月以降に感染者数が高い水準で推移し、重症者用病床の占有率が20%を超えるとともに、変異株による感染者が増加するなどこれまでとは異なる局面を迎え、4月19日に「緊急警戒宣言」を発出しました。5月9日から5月31日まで、「まん延防止等重点措置」が三重県全域に適用されました。そのうち特に重点措置を講じる区域として、伊賀市を含む県内12市町を指定しています。伊賀市でも、感染症対策の徹底と、その実践を、改めて市民の皆さんや地域、事業所、あらゆる団体へ取り組みをお願いしているところです。

- ・学校開放施設の新規予約の停止（5月11日から5月31日まで）
- ・市の集会施設においても20時までの利用制限
- ・市民への注意喚起のため伊賀上野城をオレンジ色にライトアップ
- ・横断幕、バスマスク等を活用した啓発の実施

### （1）65歳以上の高齢者への新型コロナワクチン接種が始まります

4月22日に市内約3万1千人の対象者にワクチン接種のための無料接種券（クーポン券）を送付しました。伊賀市では市民の皆さんがより安心して接種できるよう、地域のかかりつけの診療所等で接種する個別接種を中心にワクチン接種を実施します。65歳以上の高齢者の接種予約は、5月17日から受付を開始します。個別接種の予約は、各医療機関へ直接電話等でお申し込みください。各医療機関の予約受付時間は、広報いが5月号と同時配付したチラシをご覧ください。

なお、岡波総合病院と上野総合市民病院への予約は、伊賀市新型コロナワクチン専用コールセンター（電話0120-849-064）又はWEBで受け付けます。個別接種は、5月25日午後から開始します。接種当日は、無料接種券（クーポン券）、予診票及び運転免許証や健康保険証などの本人確認書類を持参ください。

なお、円滑にワクチン接種を行うため、事前に予診票へ必要事項を記入いただきますようお願いいたします。

また、接種は肩の近くに注射するので、半袖など肩の出しやすい服装で受けてください。接種後は体調確認のため、15分から30分程度接種した医療機関でお待ちいただきます。

また、接種を受けた際に発行される予防接種済証は、大切に保管してください。

次に2回目の接種についてですが、2回目の接種は、原則、1回目と同じ医療機関で予

約してください。なお、ファイザー製のワクチンは1回目から3週間空けて2回目を接種してください。

次に、65歳未満の人へのワクチン接種についてですが、高齢者の接種状況も見ながら、6月下旬以降に対象者へ無料接種券（クーポン券）を発送する予定です。まずは基礎疾患のある方から接種を開始し、その後、それ以外の人への接種を開始します。無料接種券（クーポン券）の発送日や基礎疾患のある人の接種開始時期等については、決まり次第、市広報や市HP等でお知らせします。

最後に、集団接種についてですが、市ではかかりつけ医がいない人などを対象に集団接種を実施します。集団接種は7月中旬以降から各支所の保健福祉センター等で実施する予定です。こちらも、詳細が決まり次第、市広報や市HP等でお知らせします。

なお、新型コロナウイルスワクチンは国から対象者全員分のワクチンが順次供給されます。少しお待ちいただく可能性はありますが、接種を希望されるすべての人が接種できますので、安心してお待ちください。

## （2）移住交流施策の5カ年の実績報告について

伊賀市では、平成28年度から「移住・交流」を市の重点施策と位置づけ、県内初となる移住コンシェルジュによる相談窓口を地域づくり推進課内に設置して取り組んでいます。主な取り組みとして、

- ・東京、大阪、名古屋などでの移住相談会や移住プロモーション
- ・市の魅力を体験する移住セミナー
- ・移住者を対象とした交流会
- ・移住促進空き家取得費補助金等の支援

などを実施しました。

平成28年度から令和2年度までの5年間の延べ相談件数は4,105件、移住者数は165世帯327人で、平成28年度と比較すると、延べ相談件数は3.3倍、移住者数は2.9倍の実績を達成しました。

令和2年度の実績ですが、延べ相談件数は1,235件、移住者数は37世帯94人で、新しい生活様式の実践等もあり、37世帯の内20世帯は30代、40代の子育て世帯となっています。昨年度はコロナ禍のなか、都市部での移住相談会は相次いで中止となりましたが、伊賀市では速やかにオンラインによる相談体制を整えたこと、移住コンシェルジュによる前年度からの継続相談者へのきめ細やかなサポート等により、令和元年度より相談件数、移住者数ともに増加しました。

また、三重県の調査によると、令和2年4月から令和3年1月末までの期間、行政の相談窓口を利用して三重県へ移住した人数は313人で、うち65人が伊賀市への移住で、県全体の約20%を占める結果となりました。

こうした取り組みや実績が評価され、令和3年1月に発行されました宝島社の『田舎暮らしの本』のなかで、伊賀市が「全国12エリア別住みたい田舎ベストランキング」東海エリア総合部門で6位に選ばれ、3年連続で県内1位を達成しました。

伊賀市の強みは何と言っても、2名の専従の移住コンシェルジュの存在です。移住に際して何を大切にすかの優先順位の整理や、相談者ごとに違う、移住前後の不安を解消するお手伝いをしています。一言に「移住希望者」と言っても、その志向や置かれている状況は千差万別です。できるだけ詳しくお話を聞き、想定しうる最良の未来に近づけるよう、

頭をひねり、先回りしてサポートを行っています。

なお、こうして伊賀市に来られた方々は、飲食店を起業したり、城下町ホテルの設計を担当したり、伝統産業の担い手になったりと、市民として地域に溶け込み、様々な分野で活躍してくださっています。

また、市では「移住者交流会」を開催し、移住された方々同志の交流や関係の構築を図ってきました。昨年度はコロナ禍で実施できませんでしたが、その代替として発行した「移住交流通信」が大変好評いただきました。

今年度も依然厳しい状況が続くと予想されますが、これまでも増して地方移住への関心は高まっており、また、人口減少が加速度を増すなか、まちの活力を維持し、選ばれる存在であり続けるため、今後もさらに「来たい・住みたい・住み続けたい“伊賀市”」の実現に向けて、取り組みを進めていきたいと考えております。

### (3) NIPPONIA HOTEL 伊賀上野城下町「MITAKE 棟」完成に伴うメディア内覧会

昨年 11 月に開業した伊賀上野城下町ホテルについて、3 棟目の客室となる「MITAKE 棟」がこの度完成し、5 月に開業することになりました。

当客室は明治初期に建てられたもので、当時は材木屋を営み、平成に入ってから、まちづくり団体による町家未来センターとして使われてきました。近年は活用されず空き家となっていました。昨年度より城下町ホテル事業として㈱NOTE 伊賀上野が整備を進めてきたものです。5 月 15 日の本オープンを前に、14 日にメディア向け内覧会を計画しておりますので是非ご覧いただきたいと思っております。

NIPPONIA HOTEL は、近隣府県の緊急事態宣言の影響を受けながらも、直近ゴールデンウィークの稼働率は 80% を越えるなど、開業以来、安定した稼働率で推移しております。コロナ禍を背景に人の移動と三密を避けながら小旅行を楽しむマイクロツーリズムを中心にご利用いただいております。

今後の城下町ホテル事業ですが、好調な稼働率を背景として、㈱NOTE 伊賀上野と連携して今年度中に新たに 2 棟程度の建物を選定し、継続的に客室棟を増加させる計画としておりますので、よろしく申し上げます。

### (4) 2021 (令和 3) 年度「NHK 全国放送公開番組」開催が決定しました

NHK 津放送局を通じて、今年度、伊賀市文化会館において「NHK のど自慢」を開催して頂くことが正式に決定した旨の文書を頂戴しましたので、報告させていただきます。

このことについては、今年度、伊賀市文化会館が開館 30 周年を迎えるにあたり、指定管理者である(公財)伊賀市文化都市協会と記念事業の実施を検討していたところ、NHK 津放送局から公開番組の意向照会があり、開催希望をお伝えしていたところ、開催決定に至ったものです。放送日は、来年 2 月 27 日(日)午後 0 時 15 分から 1 時までの生放送を予定しており、NHK 津放送局と伊賀市の二者協定にて開催する予定です。

つきましては、今後、出場者や観覧者募集を行うことになると思っておりますので、詳細が決まり次第お知らせします。

### 主な質疑応答の概要

記者：ワクチン接種の予約の電話回線が混んで全国的に不満が出ていますが、何か工夫されていますか。

ワクチン接種推進課：伊賀市は個別接種で、予約は各医療機関へ直接電話等で予約をしていただく形になっています。岡波総合病院と上野総合市民病院は、コールセンターでの予約になっていますが、他の医療機関は、直接各病院へ電話でお申し込みいただくことになっていますので、特に回線を増やす等の対応はしておりません。ただし、HP、WEBの予約につきましては、市のHP等に負荷が掛かってダウンしないように、HPのトップページをその期間だけ災害時用のテキストだけの負荷が掛からない画面で行い、LINE は直接予約画面につながるように負荷が掛からない対応を予定しております。

## 2. 5月の主な行事予定

### (1) 人権啓発パネル展の開催

日 時 会場により異なります（詳細は別紙をご覧ください）  
場 所 本庁・市民館等  
内 容 「子どもの人権」、「仕事と産業」、「障がい者の人権」  
担 当 人権生活環境部 人権政策課（電話 0595-26-9683）

### (2) 伊賀市本庁舎アート情報（5月展示）について

日 時 5月1日（土）～5月31日（月）※華道は5/6から6/4まで  
午前8時30分～午後5時15分（市役所の開庁時間に準ずる）  
場 所 伊賀市本庁舎（4階）市民ミニギャラリー  
（1階）玄関横  
内 容 （4階）笑い文字作品12点（平岡 紀子さん）  
（1階）絵 画：「花」（荒木 寛さん）  
華 道：伊賀華道協会  
担 当 企画振興部 文化交流課（電話 0595-22-9621）

### (3) 子育て相談広場「にんにんパーク」事業の開催

日 時 6月13日（日）午前10時～午前11時30分  
場 所 上野南公園「にんにんパーク」内（伊賀市ゆめが丘七丁目13番地）  
内 容 6月13日（日）シャボン玉で遊ぼうの巻  
担 当 健康福祉部 こども未来課（電話 0595-22-9665）

## 3. その他

### (1) 伊賀市長の資産等の公開について

公開日 5月17日（月）  
場 所 伊賀市役所企画振興部広聴広報課（4階）  
時 間 午前8時30分～午後5時15分（土・日曜日、祝日を除く）  
担 当 総務部 秘書課（0595-22-9600）

## 主な質疑応答の概要

### 【（１）65歳以上の高齢者への新型コロナワクチン接種が始まります】

記者：高齢者施設のワクチン接種は、その後3施設から増えていますか。

ワクチン接種推進課：各施設から利用者数と嘱託医との日程等の報告は、いただいておりますが、高齢者施設のワクチン接種は現在まだ3施設です。新たに追加になった高齢者施設はありませんが「何日にワクチンを持ってきてください」と言うお申し出は、何ヶ所からか聞いております。25日までに始めていただく高齢者施設もありますので、順次ワクチンを配布していきます。

### 【三重とこわか国体デモンストレーションスポーツ「伊賀流手裏剣打スポーツ」の開催可否の判断について】

記者：6月20日に「伊賀流手裏剣打スポーツ」が始まり、200人ぐらいが会場に来くと思いますが、開催できますか。

市長：まず、オリ・パラも含めて国体も個人的には、このパンデミックと言えるような状況の中でなぜ開かなければならないのかという説明をしていただきたいというのが私の正直な思いです。そして、国体デモンストレーションスポーツは、20日前に決定をするということになっています。決定は、国体実行委員会と関係競技団体ということになっているようです。私は三重とこわか国体の伊賀市実行委員会会長ですが、私の会長の感覚としてはこの時期にそうしたことは望ましいことではないと思います。会長としてはこの時期には難しいであろうと。5月31日のまん延防止の期間中に改善されるというエビデンスが見えないわけですから。

記者：31日でまん延防止が終わればいかがですか。

市長：ただ、まん延防止が終わっても状況が劇的に改善されるわけではないだろうと思いますから。つまり、命を守るということは、今この時期においては一番大事なことです。いろいろなことをやって行く必要がそれが組織の責任・行政の責任だろうと思います。

### 【伊賀市長の資産等の公開について】

記者：市長の資産等の公開は、昨年の市長選が終わった後に1回公開がありましたが、その時と比べて何か変化はありますか。

市長：ありません。

（質疑応答終了）